

No.68



Newsletter

The Friendship Force of Aichi

発行 2006 年 6 月



FF 愛知では、3 月 22 日～29 日オーストラリアから ノースモートンクラブを中心としたアンバサダー 14 名を受入れ、交換を行った。ノースモートン、イプスウィッチ両クラブへは一昨年 10 月、FF 愛知が訪問しており、互いに再会を喜び、友情を一層深めることができた。また、4 月 26 日～5 月 10 日にかけて、18 名のアンバサダーがベルギー・ベルジアンコ・スト、ドイツ・ハノーバー両クラブを交換訪問した。ベルギーでは、歴史の重みを感じる都市の美しさに感嘆し、そして温かさ溢れる歓待を受けた。ハノーバーでは、昨年当クラブを訪れた面々と再会、交換を心行くまで楽しみ友情の絆を一層強めることができた。

ノースモートン交換を終えて

ED 西村 貴美子

3 月 22 日～29 日まで、2004 年渡航でお世話になったノースモートン、イプスウィッチクラブにサンシャインコースト、タムワースが加わり総勢 14 名が愛知クラブを訪れました。

ノースモートンクラブは、ブリスベンから車で 1 時間位の所にある小さな町が集まって出来たクラブです。私たちが行った時、市長訪問をスケジュールに組み込んでくださるなど、市長と市民の距離がとても近いことがよくわかりました。今回、愛知クラブ訪問にあたって「プレゼントを持って市長訪問をしたい」といわれたときは正直なところ少々困りました。市の規模の違いはあるにしろ市長と市民の距離の近さは、私の住む名古屋のベ

ッドタウンである小さな市と比較してもとてもうらやましい気がいたしました。

ED の Kenn さんは大柄なからだに優しい目をした素敵な男性です。大きな自然の中で暮らしているからでしょうか、ゆったりとしていていつもニコニコしています。細かいことを次から次と質問をする私、easygoing の彼、戸惑うこともありましたが、交換を無事終えることができたのは、彼の穏やかな包容力のある人柄によるものだと思います。

大きな島国オーストラリアと小さな島国日本との文化の違いを彼らはどのように受けとめたのでしょうか。



桜の花にはまだ早くて残念でしたが、梅の花と名古屋城をバックにニコリ！

ノースモートンからのお客さまを迎えて

村田ひとみ

1 年半前、ノースモートンとイプスウィッチを訪れた時、心温まるおもてなしを受け、忘れられずにいました。そして今回ノースモートンのアイリーンさん、イプスウィッチのパットさんのお二人に再会できたことをうれしく思います。

これも ED である西村さんをはじめ大勢の方々のお骨折りのお陰と感謝しております。

パットさんは食物アレルギーがあるので常に食品成分をチェックしていました。そのために外食できないので、ウエルカムパーティ、キリンビヤパーク、ボトラックランチなど、全て手作り弁当を持参いたしました。

彼女のアレルギーは隔世遺伝で彼女の祖母、お孫さんも同じアレルギーがあり、彼女の両親、娘、息子さんは大丈夫だそうです。出生時からのアレルギーですから、いまだかつてスパゲッティ、ピ

ザ、パイなどは食べたことがないと言っていました。野菜、フルーツは OK と言いながらもオレンジはだめ。しかしグレープフルーツは OK ととても微妙でした。味噌、醤油、マヨネーズのほか多くの種類の食品がだめでしたが日本酒はおいしいといいながら夫と一緒に楽しんでいました。

パットさんは明るくお喋り好きな人でした。日本が初めてのせいもあり、全てのものに対して好奇心が強く、なぜ？ どうして？を連発していました。いろいろな事を話し合いました。しかし、もっと私が英語に堪能であれば、もっともっと会話を楽しむことができたのに、と残念に思いました。言語の重要性を痛感いたしました。



パットさん
と
村田さん



抹茶で日本文化に触れました

ノースモートン受け入れの思い出

陽気で繊細なオーストラリア人

武藤美代子

フリーデーに高山に行った。4 年ぶりの高山は観光都市として整備されていて、私たち日本人にとってもとても興味深く楽しかった。ちょうど昼時に着いたので、まず腹ごしらえ。昔の旅館を改装した蕎麦屋はとても風情があり、ピーターとカイは感激していた。ちょうど町のあちこちで雛人形が展示してあったのも良かった。ピーターはビールが大好き。さっそく地ビールを飲み、土産にも買っていた。昼食後は町を散策しがてら、から

くり人形館と陣屋見学。からくり人形館では人形の操りを見、最後にはからくり人形が書いた習字をカイにくれた。陣屋では英語の翻訳機を貸してもらい、それを片手に二人は熱心に見学していた。飛騨の里には合掌造りの家が移築してあるので、それを見学。まだ雪が残っていたので、雪を見たことのない二人は大感激。

夫は仕事があり、フリーデー以外是一緒に行動できないので、二人はいつも夫への気遣いをし、夕食時には必ず話しかけてくれた。受け入れをする度、国境を越え人情を感じることも多し。



初めて雪を見ました

Our Exchange to Aichi F.F. Club Japan



It has been an ambition of mine to return to Japan after being on an exchange there 4 years ago and a visit to our North

Moreton F.F. Club by Aichi F.F. Club members 2 years ago. When the opportunity arose for North Moreton was offered a return visit to Aichi Club we accepted it willingly, and I was honoured to be chosen as E.D.

Our flight to Nagoya arrived there at 8.00pm to be met by our hosts from the Aichi Club. It was wet and cold but the greetings from our hosts was so warm and wonderful that the weather did not matter. We were soon in our hosts homes some remembering and talking over old times and others getting to know their new friends.

The following week was a great experience for all the ambassadors with so much activity and sight seeing that the Aichi members had organised for us and of course in true F.F.

tradition so much food to eat. For a few of the Ambassadors this was the first time to try true Japanese food and we had to try all the different dishes and surprise. I don't believe that the ambassadors were disappointed with any of the dishes.

The sight seeing that you showed us was so varied from Temples, Brewery, Castles, Gardens and not forgetting the Toyota Museum. Although we all hoped to see the Cherry Blossom out in full bloom this was not to be but the Cherry trees that did have blossom were very pretty and we could only imagine what it would be like when in full bloom.

It was a sad moment when we had to leave our wonderful host to continue on the exchange, but I know from the comments of ambassadors that they had made new and I hope long lasting friendships and that we will meet again in future times.

Kenn Stevens E.D.
North Moreton F.F.

Kenn さんの他、3 名の方々が原稿を寄せて下さいました。
FF 愛知のホームページに載せますので、一読ください。



事務局からのお知らせ

* 新入会員のお知らせ

杉浦とし子	半田市	紹介者	加藤紀子
渡辺治美	半田市		加藤紀子
大崎朱美	半田市		久田建男
沢井由美子	名古屋		山田晴久

*** 日本大会** 山形クラブ担当
6 月 17, 18 日

*** ブロック会議** 静岡クラブ担当
9 月 2 日
参加希望の方は西村まで

* 2006 年度世界大会

アイルランド・ダブリン市
10 月 13 日 ~ 15 日

* 2007 年度渡航

Host Club: Greater Harrisburg, Pennsylvania
Central North Carolina
E D : 土居 陽子

* 2007 年度受け入れ カルガリー

E D : 加藤 紀子
A E D : 竹中ふみ代

2007 ASIA PACIFIC FESTIVAL コーナー

全員参加で APF を楽しく実りあるものに

実行委員長 加藤八郎

APF の開催まで 10 ヶ月を余すのみとなりました。FFI では Debbie Powell 氏を中心に作業が進められ登録も順調に始まっております。国内からの参加者には登録料が \$ 650 と \$ 30 の割引が決まりました。

旧友と旧交を温め、そして新しい友人を作る絶好の機会ですので多くの方が参加されることを期待しております。なお、ホームステイで協力をお願いした静岡、岐阜、三重、奈良のクラブからは温かい支

援の申し出を頂いております。

当クラブでは会長をはじめ、事務局、受け入れ委員会、行事委員会で各グループに分かれ、おののリーダーを中心に具体的な準備がなされております。出来るだけたくさんの会員に準備に加わっていただいて、自分たちで APF を楽しく盛り上げていく気構えで準備に参加して下さることをお願い申し上げます。

会長からのメッセージ

まだまだ先があると思っていた APF もあと 10 ヶ月に迫りました。各グループの皆さんの討議にも熱が加わり、いよいよ肉づけの段階に入ってきました。皆で楽しい APF を作り上げましょう。皆さんの積極的な参加を待っています。

バス旅行担当 林まゆみ

6/3(土)第 1 回グループ会 出席 7 名

- * 行き先(京都、彦根)の検討。次回までに彦根周辺の観光情報を皆で収集し、再検討。
- * 車内でのビデオ、クイズ、ゲーム等。
- * 予備知識を持って見学してもらうため、行先の詳細パンフレット(英語)を作成する。
- * 各集合時間はボードに書き、目と口で確認。

APF 事務局からの報告

FFI ホームページに詳しい APF のインフォメーションが掲載されています。ご確認ください。

.....

3/18 APF 準備委員会 出席 16 名

5/20 APF 準備委員会 出席 21 名

- ・ スタッフはジャンパーなどのユニフォームの着用が提案された。

(自己負担)

- ・ 各グループでは多くの協力者を募集中
名古屋城見学、徳川美術館、市内観光、企業見学の企画と案内および付き添い、受付、パーティーの企画、運営等。

(事務局までご連絡ください。)

- * 次回 APF 準備委員会は 7 月 22 日(土)
- * 各グループの会合は随時開かれる予定

編集後記

今年も早、半年が過ぎようとしています。この間に今年度の主要な活動計画が集中的に行われました。

ゴールデンウィークを挟んでのドイツ・ベルギーへの渡航の報告は、紙面の都合で次号に掲載します。

<広報委員：佐藤、白木、山田>

編集・発行 : FF 愛知

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/FF-Aichi/>

事務局 : 〒470-2101

愛知県知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37

Tel & Fax 0562-83-8341

鷹野晴子